



平成26年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月7日

上場会社名 日本電気硝子株式会社
 コード番号 5214 URL <http://www.neg.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長 (氏名) 有岡 雅行
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 稲増 耕一
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 077-537-1700

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第1四半期	65,440	—	1,234	—	1,415	—	3,013	—
26年3月期第1四半期	62,003	△17.2	3,359	△56.9	3,614	△49.5	1,857	202.4

(注) 包括利益 26年12月期第1四半期 3,521百万円 (—%) 26年3月期第1四半期 11,238百万円 (94.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第1四半期	6.06	—
26年3月期第1四半期	3.74	—

(注) 当社は平成26年12月期(当期)から決算期(事業年度の末日)を3月31日から12月31日に変更しています。決算期変更の経過期間となる当期の第1四半期の連結対象期間(当社及び国内連結子会社:平成26年4月1日～同年6月30日、海外連結子会社:平成26年1月1日～同年6月30日)は前第1四半期と異なるため、対前年同四半期増減率は記載していません。なお、経過期間の措置として、海外連結子会社の平成26年1月1日から同年3月31日までの損益については、連結貸借対照表における株主資本の利益剰余金に直接加減しています。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第1四半期	701,293	512,711	72.0
26年3月期	707,021	510,807	71.2

(参考) 自己資本 26年12月期第1四半期 504,603百万円 26年3月期 503,093百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
26年12月期	—	—	—	—	—
26年12月期(予想)	—	8.00	—	4.00	12.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
 2. 当期は年間(12か月)に換算して前期と同額の1株当たり16円の配当を継続することを前提に、9か月決算に対応し、1株につき年間12円(中間8円、期末4円)を予定しています。

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	130,000 ～135,000	—	3,000 ～5,000	—	2,000 ～4,000	—	3,500 ～4,500	—	7.04 ～9.05
通期	195,000 ～205,000	—	7,000 ～13,000	—	6,000 ～12,000	—	6,000 ～10,000	—	12.06 ～20.10

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有
 2. 当期の連結対象期間(当社及び国内連結子会社:平成26年4月1日～同年12月31日、海外連結子会社:平成26年1月1日～同年12月31日)は前期と異なるため、第2四半期(累計)の対前年同四半期増減率及び通期の対前期増減率は記載していません。なお、経過期間の措置として、海外連結子会社の平成26年1月1日から同年3月31日までの損益については、連結貸借対照表における株主資本の利益剰余金に直接加減しています。

〔参考〕平成26年3月期第2四半期連結業績

(連結対象期間) 当社及び国内連結子会社:平成25年4月1日～同年9月30日
 海外連結子会社:平成25年1月1日～同年6月30日
 売上高 営業利益 経常利益 四半期純利益 (単位 百万円)
 126,271 10,427 9,799 6,022

平成26年3月期通期連結業績

(連結対象期間) 当社及び国内連結子会社:平成25年4月1日～平成26年3月31日
 海外連結子会社:平成25年1月1日～同年12月31日
 売上高 営業利益 経常利益 当期純利益 (単位 百万円)
 252,548 16,170 14,372 12,431

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は添付資料4ページ2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は添付資料4ページ2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年12月期1Q	497,616,234 株	26年3月期	497,616,234 株
-----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

26年12月期1Q	222,872 株	26年3月期	220,670 株
-----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年12月期1Q	497,394,402 株	26年3月期1Q	497,407,135 株
-----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、当社グループが合理的と判断する一定の前提に基づいて作成したものであり、リスクや不確定要素を含んだものです。実際の業績は、様々な重要な要素により、業績予想と大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。詳細は添付資料4ページ1.当四半期決算に関する定性的情報(2)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) （参考）要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

[第1四半期連結累計期間]

①概況

世界経済は、欧州では景気は総じて持ち直してきており、米国では個人消費の拡大などにより回復基調が続きました。また、中国では緩やかながらも成長が持続しました。国内経済は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動の影響は薄まりつつあり、景気は緩やかに回復しました。

このような中、当第1四半期（平成26年4月1日～6月30日）においては、モバイル端末用カバーガラス（化学強化専用ガラス）の販売が伸び悩んだものの、液晶ディスプレイ（LCD）用基板ガラスやガラスファイバなどが概ね堅調に推移し、業績は当初予想の範囲内で進捗しました。

②経営成績

	前第1四半期連結累計期間 (25/4～25/6) (億円)	当第1四半期連結累計期間 (26/4～26/6) (億円)
売上高	620	654
営業利益	33	12
経常利益	36	14
純利益	18	30

(注) 記載金額は、億円未満を切捨てて表示しています。

(製品別売上高)

報告 セグメント	区分	前第1四半期連結累計期間 (25/4～25/6)		当第1四半期連結累計期間 (26/4～26/6)	
		金額 (億円)	構成比 (%)	金額 (億円)	構成比 (%)
ガラス事業	電子・情報用ガラス	456	74	462	71
	その他用ガラス	163	26	191	29
合計		620	100	654	100

(注) 記載金額は、億円未満を切捨てて表示しています。

(売上高)

・電子・情報用ガラス：

LCD用基板ガラスは需要の増加に伴い安定した販売が持続したものの、モバイル端末用カバーガラスはハイエンド機種の需要が鈍化したことにより想定を下回りました。また、電子デバイス用ガラスはイメージセンサ用カバーガラスの回復が勢いを欠きました。一方、光関連ガラスや太陽電池用基板ガラスは概ね堅調に推移しました。

・その他用ガラス：

ガラスファイバは自動車部品向け高機能樹脂やセメント強化用途の堅調な需要を背景に販売が拡大しました。建築・耐熱・その他の事業は一部の製品で消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動の影響を受けたものの、海外市場を中心に販売が増加しました。

(損益面)

円安や電気料金の値上げによる原燃料のコスト上昇や製品価格の下落などのほか、生産面で想定に届かなかった分野もあり、これらが損益に影響を及ぼしました。なお、製造設備の停止に伴う特別修繕引当金の戻入が純利益を押し上げる要因となりました。

(注) 当社は平成26年12月期(当期)から決算期(事業年度の末日)を3月31日から12月31日に変更しています。決算期変更の経過期間となる当期の第1四半期連結累計期間の連結対象期間(当社及び国内連結子会社:平成26年4月1日～同年6月30日、海外連結子会社:平成26年1月1日～同年6月30日)は前第1四半期連結累計期間と異なるため、前年同四半期連結累計期間との比較増減は記載しておりません。なお、経過期間の措置として、海外連結子会社の平成26年1月1日から同年3月31日までの損益については、連結貸借対照表における株主資本の利益剰余金に直接加減しています。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

(平成26年12月期第2四半期連結累計期間業績予想)

	平成26年12月期 第2四半期連結累計期間 (26/4～26/9) (億円)
売上高	1,300～1,350
営業利益	30～50
経常利益	20～40
純利益	35～45

(注) 記載金額は、億円未満を切捨てて表示しています。

(平成26年12月期通期連結業績予想)

	平成26年12月期 通期 (26/4～26/12) (億円)		増減額 (B) - (A) (億円)	増減率 (%)
	前回発表予想(A)	今回修正予想(B)		
売上高	2,000～2,100	1,950～2,050	-	-
営業利益	110～170	70～130	-	-
経常利益	80～140	60～120	-	-
純利益	70～110	60～100	-	-
1株当たり当期純利益(円)	14.07～22.12	12.06～20.10	-	-

(注) 記載金額は、億円未満を切捨てて表示しています。

世界経済は、地域ごとに濃淡はあるものの概ね回復基調で推移するものと見込まれます。

このような中、第2四半期(平成26年7月1日～9月30日)に関しては、電子・情報用ガラスでは、主力のLCD用基板ガラスの出荷は概ね第1四半期並みを予想しています。その他用ガラスにおいては、ガラスファイバを中心に引き続き堅調な出荷を見込んでいます。一方、費用面では、電気硝子(Korea)株式会社の第2期投資に係る設備の減価償却費や立ち上げコストなどが見込まれるほか、原燃料価格や製品価格の動向が損益に影響を及ぼすことが予想されます。当社グループとしては、生産性の改善、費用削減の取り組み等を通じ、利益の確保に全力を上げていく所存です。

以上を踏まえ、第2四半期連結累計期間の業績を上表のとおり予想しています。

なお、平成26年12月期の通期連結業績予想については、当初予想からの市場環境の変化や業績の進捗及び見直しなどを勘案し、前回発表予想(平成26年4月25日)から上表のとおり修正することといたします。

(注) 当期の連結対象期間(当社及び国内連結子会社:平成26年4月1日～同年12月31日、海外連結子会社:平成26年1月1日～同年12月31日)は前期と異なるため、第2四半期連結累計期間の前年同四半期連結累計期間との比較増減及び通期の前期との比較増減は記載しておりません。なお、経過期間の措置として、海外連結子会社の平成26年1月1日から同年3月31日までの損益については、連結貸借対照表における株主資本の利益剰余金に直接加減しています。このため、上記損益に係る連結業績予想については、第2四半期連結累計期間は平成26年4月1日から同年9月30日までの6か月間の予想数値を、通期は平成26年4月1日から同年12月31日までの9か月間の予想数値をそれぞれ記載しています。

本資料に記載されている業績予想は、当社グループが合理的と判断する一定の前提に基づいて作成したものであり、リスクや不確定要素を含んだものです。実際の業績は、様々な重要な要素により、業績予想と大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる要素としては、世界の市場における経済情勢、貿易規制などの各種規制、主要市場における製品需給の急激な変動、資本市場での相場的大幅な変動、ドル・ユーロなど対円為替相場や金利の大幅な変動などの金融情勢、急激な技術変化などが含まれますが、これ以外にも様々な要素があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当第1四半期会計期間を含む年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

退職給付に関する会計基準等の適用

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用しています。退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従っています。この結果、当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	134,149	127,942
受取手形及び売掛金	44,317	46,834
商品及び製品	35,807	29,847
仕掛品	2,373	1,819
原材料及び貯蔵品	19,139	19,814
その他	11,784	13,258
貸倒引当金	△68	△68
流動資産合計	247,502	239,448
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	286,487	283,063
その他(純額)	107,262	111,966
有形固定資産合計	393,750	395,029
無形固定資産		
投資その他の資産	2,659	2,732
投資その他の資産		
その他	63,157	64,144
貸倒引当金	△48	△61
投資その他の資産合計	63,109	64,082
固定資産合計	459,519	461,844
資産合計	707,021	701,293
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,143	28,941
短期借入金	15,185	15,773
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
未払法人税等	1,898	1,896
その他の引当金	65	57
その他	31,676	26,155
流動負債合計	86,969	82,824
固定負債		
社債	30,000	30,000
長期借入金	41,306	40,800
特別修繕引当金	35,937	32,869
その他の引当金	72	58
退職給付に係る負債	1,012	1,044
その他	915	984
固定負債合計	109,243	105,757
負債合計	196,213	188,582

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	32,155	32,155
資本剰余金	34,351	34,351
利益剰余金	422,893	424,818
自己株式	△276	△277
株主資本合計	489,124	491,047
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,670	14,306
繰延ヘッジ損益	84	△149
為替換算調整勘定	214	△601
その他の包括利益累計額合計	13,969	13,555
少数株主持分	7,714	8,107
純資産合計	510,807	512,711
負債純資産合計	707,021	701,293

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	62,003	65,440
売上原価	51,894	57,232
売上総利益	10,109	8,208
販売費及び一般管理費	6,750	6,973
営業利益	3,359	1,234
営業外収益		
受取利息	47	49
受取配当金	518	503
為替差益	571	271
その他	278	324
営業外収益合計	1,415	1,148
営業外費用		
支払利息	191	181
固定資産除却損	94	6
休止固定資産減価償却費	582	563
その他	291	216
営業外費用合計	1,160	967
経常利益	3,614	1,415
特別利益		
特別修繕引当金戻入額	75	3,935
その他	—	98
特別利益合計	75	4,033
特別損失		
固定資産除却損	424	64
減損損失	—	1,323
特別損失合計	424	1,387
税金等調整前四半期純利益	3,266	4,061
法人税等	1,111	815
少数株主損益調整前四半期純利益	2,154	3,245
少数株主利益	296	231
四半期純利益	1,857	3,013

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,154	3,245
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,920	636
繰延ヘッジ損益	367	△233
為替換算調整勘定	3,796	△126
その他の包括利益合計	9,084	275
四半期包括利益	11,238	3,521
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,918	3,296
少数株主に係る四半期包括利益	320	225

(3) (参考) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,266	4,061
減価償却費	8,252	8,517
特別修繕引当金の増減額 (△は減少)	1,588	△3,067
売上債権の増減額 (△は増加)	1,334	△176
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,237	2,735
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,155	△208
法人税等の支払額	△872	△1,926
その他	465	△1,655
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,640	8,279
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△5,896	△7,682
その他	△1,998	△4,633
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,894	△12,315
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長短借入金及び社債等の純増減額 (△は減少)	△860	△65
配当金の支払額	△3,790	△3,678
その他	△24	△19
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,674	△3,763
現金及び現金同等物に係る換算差額	228	81
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,700	△7,717
現金及び現金同等物の期首残高	121,740	123,887
決算期変更に伴う現金及び現金同等物の減少額	—	△6,381
現金及び現金同等物の四半期末残高	119,040	109,788

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。